

全国に向けて田沢湖の旬をお届けします

山のはちみつ屋 新聞

No.71 春号 2026年3月発行 有限会社ビー・スケップ

ごあいさつ

雪深かった秋田の冬も、雲間に見える

暖かな日差しに少し緩み始めました。

白い大地の下では、春を待つ草花が

新しい季節への準備を進めています。

山のはちみつ屋の

公式LINE

始めました!

今年1月から山のはちみつ屋の
公式LINEアカウントが開設しました!

《こんな情報が届きます!》

LINEではこれから、店舗の最新情報やイベント、
おトク情報を随時配信していきます♪トーク画面
から直接オンラインショップにアクセスもできる
ので、携帯電話からご注文される方にもおすすめ!

《実店舗やWEBで使えるクーポン配布中!》

- お友達になってお誕生日を覚えてくれた人には、
その月に“実店舗”で使える素敵なクーポンが
配布されます(^-^)
- オンラインショップでは新規登録で**300**ポイント
プレゼント中♪さらに、春のキャンペーン期間の
今だけWEBで使える**380**円引きクーポン配布中!

《どうやってお友達になるの?》

- ① LINEアプリの画面左下🏠「ホーム」を押す。
- ② 画面右上の👤「友達追加」を押す。
- ③ 『QRコード』でスマホをかざすか、『検索』でコードを入力。
- ④ はちみつ屋のアイコンが見つかったら「友達追加」で完了!



お友達 募集中!

SNSも
随時更新中!
のぞいて見てね♪



X Facebook Instagram

田沢湖の夏～秋のお楽しみ!

高山植物の宝庫

日本二百名山

あきた

こまがたけ

秋田駒ヶ岳



山のはちみつ屋からもその姿を眺めることができる、『秋田駒ヶ岳』は秋田県仙北市と岩手県雫石町にまたがる活火山で、「男女岳」(1,637m)を最高峰とする複数の山頂からなる火山群の総称です。標高は1,700mにも満たないですが、北アルプスの3,000m級の山で見られるような珍しい花々を見ることができます。“高山植物の宝庫”と称され、登山やトレッキングにも人気の山です(^^)

なぜ「高山植物の宝庫」になったのか?

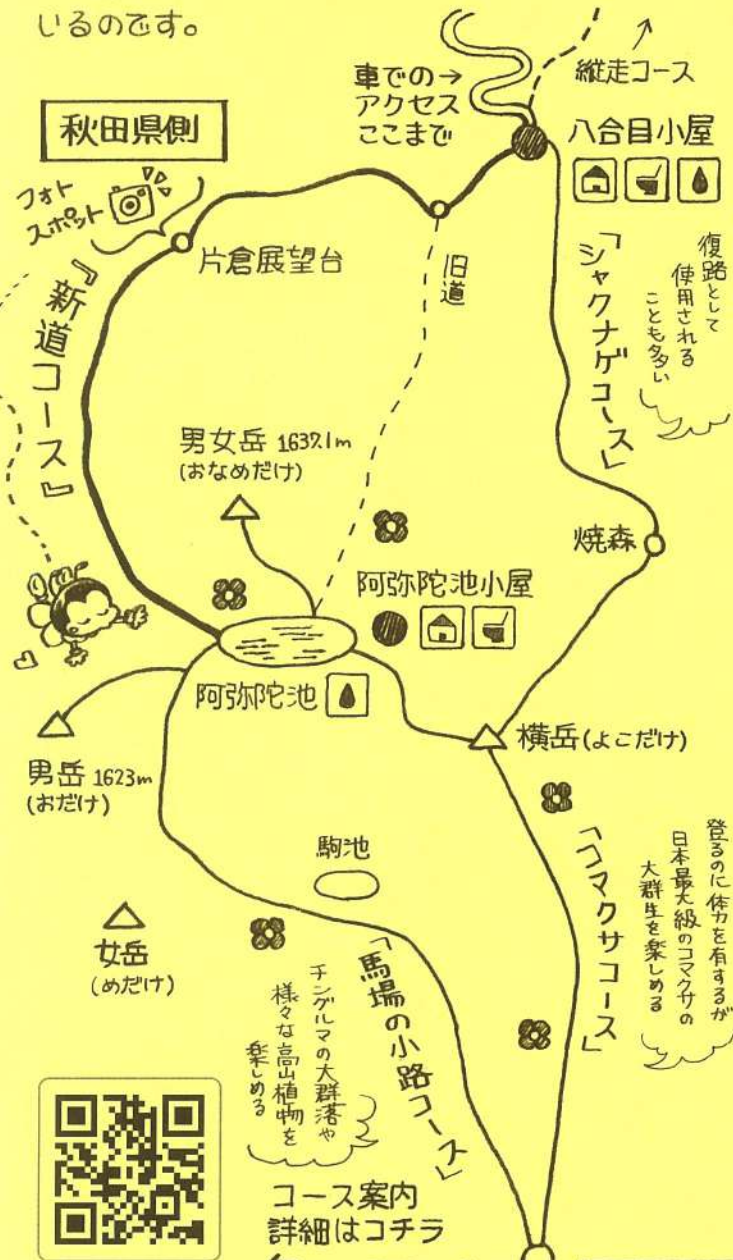
理由はいくつかあります。「活火山」であり、緯度が高く「寒冷な気候」「豪雪地帯」などの要因から、痩せた土地で積雪量が多く風が強いため森林限界が標高に比べて低く、背の低い高山植物が生き残りやすい。また、火口・溶岩台地・緩やかな草原・湿地など多様な地形が近い範囲に集まっていることで、それぞれに適した多種多様な植物が咲く。そして、比較的人による影響が少ない(国立公園内で保護されている)ことも自然が守られる要因となっています。こうした条件が重なり、高山植物にとって理想的な育成地となっているのです。

山頂へのコース

山頂に続く主な登山口は、秋田県側の“八合目小屋”と岩手県側にある“国見温泉”がある。そこから、八合目側は「新道」「シャクナゲ」コース、国見温泉側は「馬場の小路」「コマクサ」のコースが山頂につづきます。そして阿弥陀池付近で合流し、そこから山頂である「男女(おなめ)岳」(1637.1m)「男(お)岳」(1623m)に登ることができる。※八合目には乳頭山へつづく「縦走」コースもつながっている。その中でも今回は、秋田県側の八合目から登り豊富な高山植物を見て楽しみながら、初心者にも登りやすく人気の高い『新道コース』を紹介します♪

『新道コース』

八合目登山口からまず少し進むと水場に3つのコースがあり、向かって右から『新道』『シャクナゲ』『縦走』と並んでいます。ゆるやかな登りを約35分ほど行くと「片倉展望台」という、赤土の開けた場所があり、田沢湖を一望することができるポイントがあります。そこで少し休憩&撮影タイム(^^)そこからさらに約35分くらいで「阿弥陀池」に到着!向かって左に「男女岳」右に「男岳」があるので、あとはどちらも好きに登りましょう♪個人的には「男女岳」の方が登りやすいかなあと感じました(^^)八合目から午前中に出発するなら、阿弥陀池付近で少し休憩してから、「男女岳」or「男岳」に登って頂上の景色を楽しみながらの昼食もおすすめです(^^)



コース案内詳細はコチラ

秋田駒ヶ岳 / 乳頭山
https://akikoma.jp より

国見温泉 ↓ 方向

- 岩手県側
- 山小屋
- トイレ
- 水場
- お花畑

『新道コース』おすすめの植物

多種ある植物の中で主にこのコースでのみ見られるモノをピックアップ!

《ヒメイチゲ》

〔開花時期:5~6月〕

花卉がなく、花びらのような白いガク片がある。晴れている日にしか咲かない「お天気花」。



雨の日は開じている



《オオバキスミレ》

〔開花時期:6~7月〕

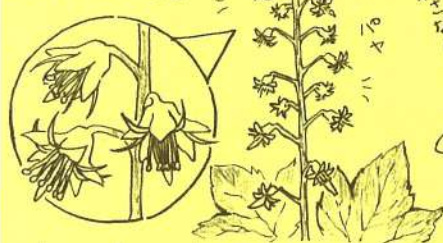
他のスミレと比べ葉が非常に大きいのが名前の由来。花は小ぶりで鮮やか。



《ズダヤクシュ》

〔開花時期:6~7月〕

にょろっと伸びた茎に小さな白い花がまばらに付く。昔から喘息の薬として用いられてきた。



《イワテハタザオ》

〔開花時期:6月〕

1本の茎に白い小さな花が数輪まとまって咲く。小さな花束のようで可憐。



《オノエラン》

〔開花時期:6~7月〕

純白の美しい花が咲く。個体数が少なく絶滅危惧種に指定されている。



《ウサギギク》

〔開花時期:6~8月〕

茎の下部につく一対の葉がウサギの耳のようなことが名前の由来。別名「金車」



《イワハゼ》

〔開花時期:6~7月〕

茎は赤く、丸い鈴のような白っぽい花が下に垂れて咲く。秋には赤い実が付く。

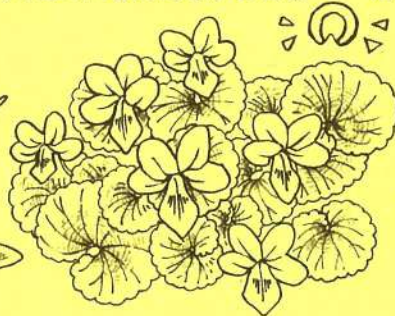


(別名アハモ)

《キバナノコマノツメ》

〔開花時期:6~7月〕

葉の形状が馬の爪の形に似ていることが由来。黄色の花を咲かせる。



《ミヤマウスユキソウ》

〔開花時期:7~8月〕

全体がふわふわの綿毛に覆われ、先端には黄色い小さな頭花がついている。



《イワカガミ》

〔開花時期:6~7月〕

ピンク色の花びらの先がフリル状にヒラヒラしている。岩場に張り付いて咲く。



白い色もある

《ノウゴウイチゴ》

〔開花時期:6~7月〕

岐阜県能郷で発見された事が由来。野生的なイチゴに近い仲間。



《エゾシオガマ》

〔開花時期:7~9月〕

小ぶりだがユニークな花の形をした、東北の高山を代表する花。



さて、初心者にもやさしいコースがある魅力的な秋田駒ヶ岳ですが、もちろんしっかりとした装備の準備や守らなければならないルールがあります。その他、マイカー規制などもありますので、登ってみたい!と思った人はぜひ訪れる前に注意事項のご確認をお願いします(^_^)↓

山開きは6月1日からでそれ以前は自動車では合目まではいけません。また、残雪があり迷ったり滑落の危険もありますので、登るなら山開き後がおすすめ! 6~10月頃までマイカー規制があり、JR田沢湖駅からバスが出ています。○開花情報○登山計画提出○火山活動情報○クマ対策などの情報もサイトに掲載されています。

ルールを守って楽しく登ろう!



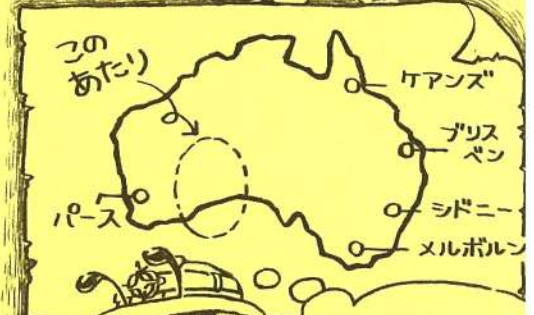
オーストラリアで発見!! “悪魔のツノ”をもつ「ルシファー」

新種のハチ!!?



新種のハチ「ルシファー」は、オーストラリアの西オーストラリアゴールドフィールズで、希少な植物を調査していたカーティン大学の客員研究員で分子生物生命科学専門の(キットプレンダーガスト)によって偶然発見されました。発見時このハチは、調査対象の絶滅危惧種の野花や、その付近に生えているマレーの木(丈の低いユーカリ)を訪れていたとのこと。研究チームは、DNAデータベースや博物館のコレクションなどを調べ、登録されているどの既知の種とも一致しなかったことから“新種”であると結論づけました。「ルシファー」の最大の特徴はその頭部に生える“ツノ”。

その特徴も相まって、発見した研究員がドラマの名前からとって名付けられました。



訪花していたユーカリの大量開花と関係があるのかも!?

特徴的なツノの正体とは…?

メスにのみ頭部に小さなツノ状の突起を持っていて、これはオスには見られない特徴のため、自然界でよく見られるようなオス同志の争いのためではなく、メスが花の蜜や花粉へのアクセス、花資源をめぐる競争相手の排除、巣穴をめぐる他のメスとの争い、巣の構築などに使われる可能性があると考えられています。

ミツバチやスズメバチなどはメスが主体で社会が形成されていますが、やはりこの種もそうなのでしょう。とするとメスにツノが必要な理由にも納得です(°ω°) また、ハキリバチ科の同じ亜属で最後に新種が発見されたのは、約20年以上前のことだそうです。

認知されていない生物も多い…

今回新種が発見された地域ではこれまで、昆虫の系統調査が行われたことがなく、在来種が絶滅危惧植物や生態系をどのように支え、依存しているのかも調査されていない現状にある。また、この地域は鉱山開発のリスクや、近年の気候変動の脅威も懸念されているため、未だ発見されていない在来種(虫や植物など)が生態系にどのような役割を担っているか、調査される前にその両方が失われる恐れがあると研究者は警鐘を鳴らしています。

『WIRED』 <https://wired.jp>より



正式名称は「Megachile lucifer」
って言うんだよ!

ミツバチ(働き蜂)は
約10mm~14mm!

メスの体長は約9.8mm。頭部に左右1対の三角形の突起(ツノ)があるよ! ツノの長さは約0.9mmで、顔面のクリペウスという器官から外側に向かって上方に突出していて、このツノ状の構造は他のハキリバチ科には見られないんだ! 一方、オスの体長は約8.9mmで、ツノの分メスより小さく、腹部末端がオレンジ色を帯びるなどメスとの違いがあるんだよ!

我々の知らないところでも気候変動や環境の変化は、花や森の姿を変え、大小様々な命の営みを脅かしているんだ…



編集後記

ようやく暖かな春の兆しが見え始めました。厳しい冬を超えたからこそ味わえる、やさしくあたたかな春の訪れ。その想いを重ねながら、春のようにやさしく、心をほぐす甘い自然の恵みであるはちみつを今年もお届けします。

蜂五郎

71号いかがでしたか? 少しづつ暖かくなる3月は新しく何かを初めたり、始まったりと環境が変化しやすい時期でもありますね。体調だけは変わらずいつも笑顔でありますように(^^) 春もはちみつを食べて、健康な毎日をお過ごし下さい~! みっちい